

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX: 08396-2-2622
E-mail: akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP: <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

冬を耐える台地

羊の群れが子牛の群れに

12月に入って晴れた日は数日しかなく、それ以外の日は曇か雨かみぞれか雪で、重い空にかすかに薄日が見える時が僅かにある程度でした。秋吉台も、静かで寂しい冬日の中で、じっと耐えているようです。いつもは羊の群れを思わせるような石灰岩も、冷たい雨に濡れて黒々としています。その情景はあたかも子牛の群れのようにです。この子牛たちも台地と同じようにじっと耐えています。草原の周囲では、それを取り囲むように火道切りの作業が行われはじめました。やがてやって来る春を迎える準備です。



花も実もある秋吉台

「困難に打ち勝つ」縁起物「ヤドリギ(宿木)」

子どもの頃、イヌビワの実を採って食べたことがあります。黒く熟した実は甘くておいしかったです。ビワとういよりも、どちらかというといちじくのような気がします。

ヤドリギは「困難に打ち勝つ」という花言葉があります。また、ヒイラギとともにクリスマスを思い浮かべるものでもあります。

ムクロジの実は、果肉を除くと黒くて丸いとても硬いタネがあります。これはお正月の羽根つきなどのときの羽根の重りとして使われてきました。



クリスマスリース作りを行いました。はじめのうちは「どうしようか」と戸惑いのようすもありましたが、作り始めるとホットグルーガンの使い方にもだんだんと慣れ、作っているうちに次のアイデアが浮かんでくるようです。みんなそれぞれに、いろいろな材料を使ってきれいに飾りつけました。完成したリースを逐次壁に掛けて鑑賞します。大きな松ぼっくりを使ってできたリースには「豪華だね」との声がありました。



ホタルカズラの今

石灰岩の陰で春を待ちます

草むらの中でチラッと何やら白い小さなものが見えました。ホタルカズラのタネです。同じ科のムラサキのタネに形や大きさがよく似ています。その近くには、冬を迎える準備をしている株があります。こちらは花が咲いたようすはありません。花を咲かせた株だけが枯れてしまい、そうでない株が越冬して花を咲かせるのでしょうか。ホタルカズラは石灰岩と石灰岩の間やその周りに自生していることが多いです。そういえば、花の色がリトマス試験紙のアルカリ反応の色に似ていませんか。



門松設置

~~ もういくつ寝るとお正月 ~~

今年も残すところわずかとなりました。新年を迎えるために、大正洞へ通じるアーチの横に、みんなで門松を建てました。大きいものを作ろうと思って高さ約240cmに設定しましたが、出来上がって見ると少し小さいような気がします。

材料は職員がそれぞれ自宅にあるものなどを集めて持ちよりました。竹を切り出すのがいちばん大変だったそうです。

皆様には、今年一年お世話になりました。来年も相変わりがませずよろしくお願いいたします。



1月の行事

1月12日 (土)

観察会「冬眠中のコウモリを見る」

三角田洞に入って冬眠中のコウモリをそっと観察します。

1月27日 (日)

観察会「森の昆虫教室・冬」

いろいろな昆虫の冬越しのようすを観察します。